

Kubota

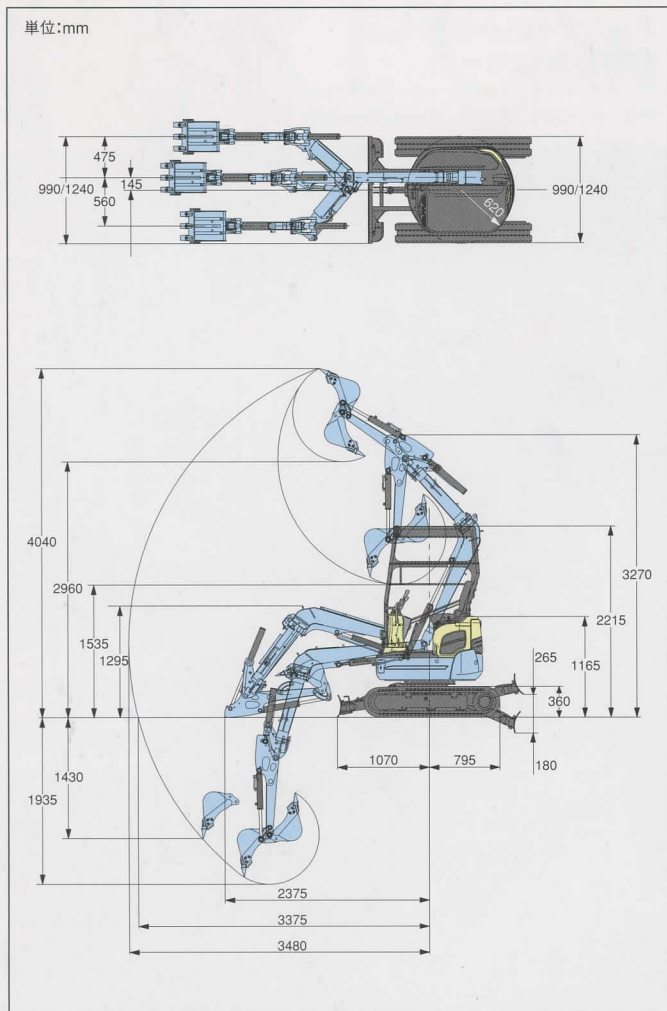
RX-153S

NEWクボタミニバックホー [ゼフシリーズ]

ZEPHI
SERIES



■ 作業範囲図



■ 仕様

型式	RX-153S	
バケット容量 JIS平積/山積	0.026/0.036m ³	
標準バケット幅 (サイドカッタ含む/含まず)	400/350mm	
機械質量	1,580kg	
機体質量	1,310kg	
機体寸法 (輸送時)	全長	3,180mm
	全高	2,215mm
	全幅	990-1,240mm
	最低地上高	150mm
エンジン	区分	クボタ水冷3気筒D782-K3A
	形式	D782-E2-BH-5
	総排気量	0.778L(778cc)
	定格出力/回転数	8.8kW(12PS)/2,100rpm
掘削性能	最大掘削高さ	4,040mm
	最大ダンプ高さ	2,960mm
	最大掘削深さ	1,935mm
	最大垂直掘削深さ	1,530mm
	最大掘削半径	3,480mm
	オフセット量(右/左)	475/560mm
	最小フロント旋回半径(スイング時)	620mm
	後端半径	620mm
標準シュー	標準シュー形式	ゴムクローラ
	シュー幅	230mm
走行部	クローラ全長	1,585mm
	タンブラ中心距離	1,230mm
	クローラ中心距離	760-1,010mm
	走行速度(1速/2速)	2.0/3.6km/h
	登坂能力	30°(58%)
旋回速度		8.0rpm
排土板	排土板(幅)	990-1,240mm
	排土板(高さ)	260mm
	リフト量(GL上/下)	265/180mm
油圧ポンプ形式	可変容量型ピストン式×2+ギア式×2	
旋回モータ形式	オービットモータ	
走行モータ形式	ピストンモータ:2F	
燃料タンク容量	17.5L	
作動油量	13L(タンク内)/21L(全量)	

■ アタッチメント&オプション一覧表 ※納期など詳細は販売店にお問い合わせ下さい。

品名	仕様・用途
狭幅バケット	幅300(250)mm 0.023m ³
4パターンマルチ	クボタ(JIS)と日立・コマツ、三菱、神鋼パターンに切替え
スーパーチェンジ	クボタ(JIS)と日立・コマツパターンに切替え

※バケット幅()はサイドカッタ含まず ※バケット容量は新JIS山積で表示

品名	仕様・用途
鉄クローラ	幅230mm、37リンク、ダブルクローサータイプ
サービスポート	24.6L/min 18.6Mpa(190kgf/cm ²)、ハンドブレーカなどに

- ご使用される時は取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 機体質量3t未満の建設機械を運転する場合には、事前に「車両系建設機械運転特別教育」を、3t以上の場合は「車両系建設機械運転技能講習」を必ず受講して下さい。
- 故障や事故を防ぐ為、機械の定期的な点検を必ず行って下さい。
- 特定自主検査は厚生労働大臣又は労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行なう義務づけられています。

株式会社クボタ URL: <http://www.kenki.kubota.co.jp>

建設機械事業推進部 大阪府枚方市中宮大池 1-1-1

株式会社クボタ建機ジャパン

本社	兵庫県尼崎市浜1-1-1	☎ 06 (6470) 6200
東日本カンパニー		
北海道営業部	北海道北広島市大曲工業団地3-1	☎ 011 (377) 5511
東北営業部	宮城県名取市田高字原182-1	☎ 022 (384) 2144
関東第一営業部	埼玉県ふじみ野市大井武蔵野1300-1	☎ 049 (256) 2552
関東第二営業部	神奈川県川崎市宮前区鷺沼2-16-11	☎ 044 (860) 5505
関東第三営業部	長野県松本市大字笹賀5973-2	☎ 0263 (87) 0800
西日本カンパニー		
中部営業部	愛知県一宮市観音町1-1	☎ 0586 (73) 1235
関西第一営業部	兵庫県伊丹市奥畑5-10	☎ 072 (781) 7715
関西第二営業部	大阪府和泉市上代町996-1	☎ 0725 (45) 2299
中国営業部	広島県呉市広多賀谷3-4-10	☎ 0823 (72) 0235
四国営業部	香川県丸亀市飯山町下法軍寺90	☎ 0877 (98) 0277
九州カンパニー		
九州第一営業部	福岡県大野城市御笠川2-3-1	☎ 092 (503) 8738
九州第二営業部	熊本県熊本市八幡5-16-23	☎ 096 (358) 6100
九州第三営業部	宮崎県宮崎市大塚町字横立1385-1	☎ 0985 (53) 0788
三光クボタ建機(株)	熊本県熊本市西原1-13-5	☎ 096 (340) 1170

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

- 本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。
- ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」終了証が必要です。